

隠岐の島町ふるさと納税推進事業委託業務 プロポーザル審査結果について

1. 審査経過の概要

隠岐の島町ふるさと納税推進事業委託業務プロポーザルには町内の 2 事業者からご提案をいただきました。

令和 7 年 3 月 18 日に公開プレゼンテーション・ヒアリングを隠岐の島町役場 201 会議室で実施し、審査員との質疑応答を行いました。その後、各審査員が提案された企画提案について業務遂行能力や的確性、独創性、実現性などの視点から評価を行い、各委員の平均点を算出しました。

審査会では、各委員が意見交換を行い、総合的に判断した結果、有限会社 WILL さんいん隠岐支店を最優秀提案者、株式会社吉崎工務店を優秀提案者に特定しました。

ふるさと納税業務にあたっては、寄附者の利便性向上はもとより、返礼品の発送管理、寄附者情報の的確な取扱い、寄附金額増加を目指すことが求められています。また、返礼品事業者の負担感なく魅力的な返礼品提供が可能な体制構築にも十分にご配慮いただきたいと思います。

そして、寄附者の本町に対する共感性を喚起し、本町のファンとなっただき、繰り返し寄附をいただけるよう、本町の魅力を発信していくことも期待されるため、事業者や寄附者、役場担当職員と密なコミュニケーションを図りながら従事することを望みます。

今後、関係者にはこれらの点を十分配慮の上、具体的な準備業務を進めていただき、隠岐の島町のふるさと納税市場が活性化されることを委員一同期待するものです。

隠岐の島町ふるさと納税推進事業委託業務
プロポーザル審査委員長 橋本 博志

2. 隠岐の島町ふるさと納税推進事業委託業務審査講評

この度のプロポーザルは持続可能かつ魅力的な返礼品提供体制構築のため、11 の審査項目のうち「返礼品提供事業者との調整力」について重点的に評価しました。

【1】最優秀提案の評価概要

提案者の提案内容は返礼品事業者とのコミュニケーションを積極的に行うとともに、6年間の業務従事实績による確度の高い業務プロセスが確立されていました。また、提案者はマンパワー不足となっている返礼品事業者に寄り添い、商品化に向け伴走できるノウハウを有しており、これらは高齢化・人口減少が生じている本町において重要な技能であり、返礼品事業者の負担軽減が図られるものと評価されました。

一方で、寄附実績については停滞している現状から、6年間のデータ蓄積が業務に活かされておらず、数値目標を示した提案ではなかった点など、業務改善または業務方向修正について更なる取り組みが必要であるとの評価となりました。

【2】優秀提案の評価概要

提案者の提案内容は生産者組合と協業することにより、多様な返礼品を開拓する能力を有することや、有形・無形文化財振興施策と体験型返礼品を結びつける企画能力の高い提案であると評価されました。また、提案者は、ふるさと納税事業を町のファンを増やすためのツールとして位置付けていました。これは単なる寄附増加を目指すのではなく、関係人口の拡大や地場産業の振興といった本事業の本質を捉え、本町の事業推進方針と親和性の高い提案であると評価されました。

しかし、提案者にとっては新規参入事業であり、業務体制は協業する形態であったため、業務フローの確度や提案者と協力事業者の業務バランス、経費内訳について不明確な部分が残る評価となりました。

審査会としては2社の提案を慎重に審査し、双方の熱意と努力、企画力に感嘆するところではありましたが、仕様書で示した業務内容の遂行という面において確実性のある方を最優秀者といたしました。

最後に、本プロポーザルに参加され、貴重な時間と労力を費やされ、真摯に努力し提案していただいた事業者に心より感謝いたします。